

# 平成25年度 加茂市・南蒲原郡特別活動部 活動報告

部長 杵鞭 恵子

## 1 研究主題

望ましい集団の育成を目指した支援のあり方

## 2 今年度の主たる活動

- (1) 期日 平成25年8月27日(火) 9:00~11:00
- (2) 会場 加茂市公民館 第4研修室
- (3) 参会者 特別活動部員16名(小学校6名 中学校9名 顧問1名)
- (4) 内容 講演会「話し合い活動を中心にした学級作りとリーダー作り」  
講師 新潟市総合教育センター 指導主事 小林広紀様

## 3 研修の概要

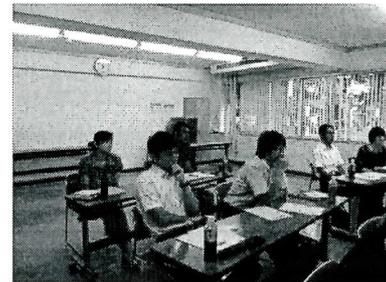
加茂市では、市教研特別活動部として学級経営における教師の指導力の向上に取り組んでいる。今年度は、小林広紀様(新潟市総合教育センター指導主事)を講師に迎え、指導に関する留意点を聞いたり、学級作りに役立つエクササイズを紹介していただいたりすることにした。

研修会では、はじめにアイスブレイクとして、「コンナ現代ッ子ニ ダレガシタ!? 雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ」(産経新聞記事)で現代っ子の気質について共通確認した。自立性や社会性をもつ子どもを育てるには、人間関係を築く力を育むことが必要であり、そのためには学級活動をどうするかが重要であることを再確認した。



学級活動において、従来は思いや願いを交流したり共感したりする「話し合い活動」と、互いのよさを実感する「実践活動」という2つの段階を行っていたが、その前後に「課題把握」で思いや願いを捉え、「振り返り」で成長や課題を把握するという4つの段階を提案され、紹介していただいた豊富な実践は、各自の実践に向けて大いに参考になった。

また、年間指導計画の作成において、生活課題を根拠とした2週間をスパンとして1年間を見通した計画を組み立てる必要性について話していただいた。更に、教師のリーダーシップとして、課題遂行機能と集団維持機能の累計について確認し、今取り組んでいる課題によって機能を変える必要があることを確認した。



講師の話に聞き入る部員

最後に、リーダーの育成のポイントをまとめていただいた。また、班編制の具体的な方法など細かな留意点についてもアドバイスをいただき、組織としてシステムを根付かせることの大切さを教えていただいた。

## 4 成果と課題

学級の人間関係作りにかかわる具体的な考え方や手法を、小・中学校部員で共有できたことが成果である。今後は、小中連携の視点から実践の成果を共有する場を設定したい。